

■著者紹介

カライスコス アントニオス

京都大学大学院法学研究科准教授

日本消費者法学会理事

適格消費者団体・特定適格消費者団体「特定非営利活動法人 消費者支援機構関西」理事

Member of the Scientific Board of Mediterranea International Centre for Human Rights Research (Italy)

略 歴

アテネ大学法学部卒業

アテネ大学大学院法学研究科修了（修士（法学））

早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程修了（博士（法学））

京都学園大学法学部専任講師、立正大学法学部専任講師、関西大学法学部准教授を経て現職
元ギリシャ共和国弁護士

タマサート大学法学部（タイ）客員准教授、スオール・オルソラ・ベニンカーサ大学法学部
（イタリア）客員准教授、ウィーン大学法学部（オーストリア）客員准教授

主要著作

『これからの消費者法——社会と未来をつなぐ消費者教育』（法律文化社、2020年）（共著）

『ヨーロッパ私法・消費者法の現代化と日本私法の展開』（日本評論社、2020年）（分担執筆）

『社会の発展と民法学（下巻）』近江幸治先生古希記念論文集（成文堂、2018年）（分担執筆）

『強行法・任意法の研究』（成文堂、2018年）（分担執筆）

The Future of the Commercial Contract in Scholarship and Law Reform: European and
Comparative Perspectives, Springer, 2018（分担執筆）

『消費者法の現代化と集团的権利保護』（日本評論社、2016年）（分担執筆）

『ヨーロッパ私法の展望と日本民法典の現代化』（日本評論社、2016年）（分担執筆）